

手話の歴史 ～主なできごと～

1875

明治8年

日本で初めて京都市に、^{ろうあ}聾^{いん あ}唖児学級「瘖^{ろうあ}唖^{いん あ}教場」を開設し、
日本で最初のろう教育がはじまる。

※1878年に全国初の聾学校「京都盲唖院」が設立される。



1915

大正4年

日本^{ろうあ}聾唖協会が設立され、
全国的なろう者組織の活動がはじまる。

1947

昭和22年

全日本^{ろうあ}聾唖連盟が結成。
それから47都道府県全てに加盟団体が設立され、
全国唯一のろう者団体となる。



2006

平成18年

国連総会において、障害者権利条約が採択され、
手話言語が音声言語と同等の言語として定義される。

※日本は2014年に条約に批准する。

2011

平成23年

障害者基本法改正案が成立し、
法律ではじめて
「手話が言語」として認められる。



2025

令和7年

手話に関する施策の推進に関する法律(手話施策推進法)が
成立し、9月23日が「手話の日」と定められる。